

企業の担当者から就職活動についての話を聞く
学生たち＝浜松市中央区の静岡文化芸術大で



就活 フランクに話そう

浜松商議所、文化芸術大など企画

企業の人事担当者や若手社員らと軽食を取りながら雑談し、就職への理解を深める学生向けの催し「就Cafe」が浜松市中央区の静岡文化芸術大であり、同大の1、2年生を中心に約70人が参加した。

市と浜松商工会議所、同大が共催し、商議所の会員6社が出展。3回目の今回は先入観を持たずに参加してもらおうと、事前告知のチラシに企業名を記さず、代わりに「光で未来を描く」

や「地球の未来へ本気で挑む」といった各社のキャッチコピーを掲載した。

学生とテーブルを囲んだ企業担当者は、自社を説明するだけでなく、就職活動に役立つ準備の方法なども紹介。和やかな雰囲気の中で、学生たちは「インターンシップ（就業体験）は何社ぐらい参加したらいいのか」「内定の辞退はいつまで」などと聞きにくい本音の質問をぶつけていた。

（寺本康弘）